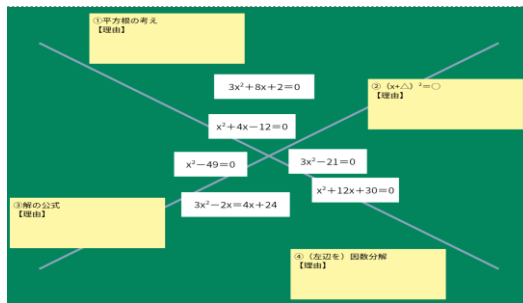




ICT活用場面

中学3年 数学
「2次方程式とその解き方」
(全10時間扱い)

準備するもの

一人一台端末
ロイロノート(アプリ)
ディスプレイ

インターネットの利用

有

ICT活用のメリット

- 自身の思考のプロセスを可視化することができ、いつでも振り返ることができる。
- アナログ機器と異なり、分類や入力を間違えても、簡単に直すことができるため、思考の整理に集中することができる。
- ロイロノートは、簡単に全体でシートを共有できる。友達の考えにふれ、自分の考えを振り返り、見つめ直すことで多角的思考の構築に役立つ。
- 必要なタイミングで情報を共有できる(端末、ディスプレイ)。
- 教員の準備時間の削減、評価にも活かせる。返却しても手元からなくなるので、いつでも評価に活用できる。

授業の流れ(10/10時)

本時のねらい

2次方程式を適切な方法で解くためのポイントを考えよう

主な学習内容

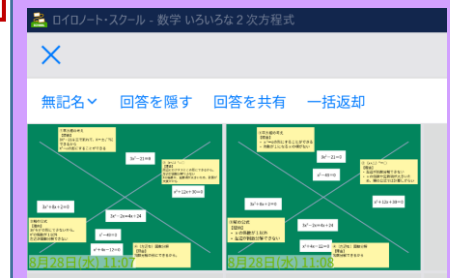
1. 本時のめあての確認
「2次方程式を適切な方法で解くためのポイントを考えよう」
2. 6つの2次方程式を、適切な解き方にそれぞれ分類し、理由を考える
個人→友達と一緒に
3. 全体で考えを共有する
4. まとめ
5. 振り返り

ICT活用場面

お互いの端末を見せ合いながら、意見交換



ロイロノートの回答共有機能を使って全体で共有



児童・生徒の声や、教師のふりかえり

人によって計算方法が違ってくるのがわかり、おもしろかった。(生徒の声)
活発な意見交換の様子がみられ、生徒の考えが深まった。(教師の振り返り)